

適性を活かした発注方法で在宅ワーカー活用

株式会社 KAZE&Co.

事業概要

広告運用事業、Web メディア事業、通販事業

- 所在地：神奈川県川崎市
 - ホームページ：<http://kaze-www.co.jp/>
 - 取引在宅ワーカー数：40 人
 - 発注金額：1,100 万円（2017 年 1 月～2017 年 12 月）
 - 発注件数：1500 件（2017 年 1 月～2017 年 12 月）
-



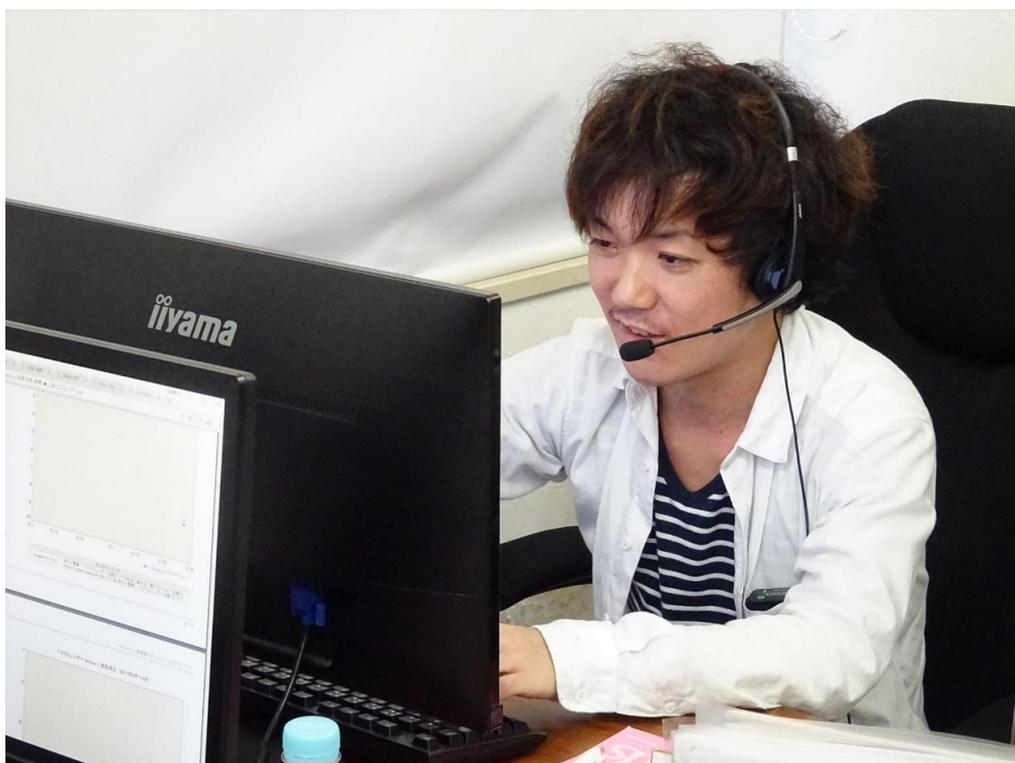
在宅ワーカーへの発注に至った背景

かねてより社員の採用活動を行っていた同社。応募は多数あったものの、「子どもがいるので毎日出社は難しい」「短時間なら可能だが、仕事をする時間の確保ができない」など、社員としての条件に合わず採用を見合わせるケースが少なくなかった。「いい人材なのに、お子さんがいて外に出るのが難しいなどという理由で仕事をお願いできないのはもったいないと感じたんです。それがきっかけで、働き方のひとつとして在宅で作業をしてもらうことになりました」と、同社担当者は話す。

働き方の選択肢を増やすことが、優秀な人材の確保につながるのだという。

在宅ワーカー活用の状況

同社の在宅ワーカーへの発注方法は主に2つ。クラウドソーシングサイトを通じての発注と、自社サイト等を通じての直接発注だ。双方を上手に使い分け、特長を活かした発注を行っている。クラウドソーシングサイト経由で発注しているのは、主に定型的なライティング業務だ。端的で機械的な作業は、クラウドソーシングサイトでの発注に適しているのだそうだ。「クラウドソーシングサイトはプラットフォームが簡単で応募も集まりやすいので、単純作業を大量にこなしていく業務に向いています」と、同社担当者は話す。対して、直接発注では、仕組みを作ったりワーカーのとりまとめをしたりという考える作業を依頼している。「直接発注のワーカーは、クラウドソーシングとは違い社内でワーカーとのやりとりをする担当者が必要になりますが、その分、お互いの顔が見えているのでコミュニケーションがとりやすいです。レスポンスが早く責任感があり、会社の目標にコミットする気持ちを持ってもらえるので、社員と変わらない存在です」。発注方法は違えど、ワーカーへの期待の大きさがうかがえる。



在宅ワーカーへの発注のメリット

- クラウドソーシングサイトは募集方法が簡単でコストもかからず、条件に合ったワーカーを多数集めることができる
- 自社サイト等を通してワーカーに直接発注することで、密な関係を築きやすく、意思の疎通が叶うので、定型外の発展的な仕事を依頼することができる

在宅ワーカーへの発注のデメリット

- クラウドソーシングサイト経由での発注は、ワーカーとのやりとりを限られたプラットフォーム上で行うので、業務のマッチングが難しいケースがある

発注・活用に当たっての課題・留意点

「クラウドソーシングサイト経由でワーカーに仕事を発注するときは、募集要項をわかりやすく書くことが大切です」と、同社担当者は話す。少ない文字数でわかりやすく依頼内容を伝えることで、応募者数の増加につながるだけでなく、応募者とのミスマッチを防ぐこともできる。また、同社では必ず応募者にトライアルを課し、適性があるかどうかを判断した上で、継続して発注を行うかどうかを判断している。

一方で、ワーカーに直接発注を行う場合は、対面であったり Skype を使ったり等、顔を見て打ち合わせができる人、ある程度まとまった時間がとれる人を採用しているのだそうだ。対面で話すことで会社のマインドを共有できるので、信頼関係が構築され、判断の必要な作業をワーカーがこなせるようになる。「直接発注のワーカーさんには、いつでも会社にきてもらえる体制を整えています。仕事上ではお互いの方向性を理解した上で次のステップに進むようにしています」（同社担当者）。在宅ワーカーが出社して、机を並べて作業を行うこともしばしばあるそうだ。



今後の発注・活用方針

同社は今後も、在宅ワーカーへの発注を続けていく予定だ。運営する子育てサイトのコンテンツを充実させるために、クラウドソーシング経由の発注でたくさんの記事を発注し、直接発注のワーカーがそれを取りまとめることで、より多くの情報を発信することができる。同社担当者は「事業の拡大という意味で、在宅ワーカーの力は大きいと考えています」と、在宅ワーカーの活用に意欲を見せている。

在宅ワーカーへの発注を検討している企業へのアドバイス

在宅ワーカーは、会社と離れて仕事をしていますが、しっかりコミュニケーションをとれていれば仕事のクオリティは社員と変わりませんし、リーダーとしての素質がある方もたくさんいます。在宅で成果がでてやりがいを感じて、子供がいてもがんばれる人が増えれば、在宅ワーカーの頑張り次第で会社の売り上げも上がってくると考えています。